

議会だより



音楽って楽しいな!

誌面のご案内

定例会のあらまし	1
一般質問	
新風ねやがわ議員団	2
公明党市会議員団	3
日本共産党市会議員団	4
大阪維新の会議員団	5
新生ねやがわクラブ議員団	6
議決結果一覧	7

9月定例会を開催

- 議員報酬を削減
- 総務・建設水道・厚生・文教
常任委員会連合審査会を開催
- 決算審査特別委員会を設置

平成30年9月定例会

寝屋川市議会は、9月3日から9月21日までの19日間にわたり、平成30年9月定例会を開催しました。

この間、台風第21号に伴う対応等により、急きよ議会日程を変更する中で、市長から提案された25件の議案のほか、議員が提案した条例1件、意見書3件を審議しました。

また、一般質問は、9月12日から14日までの3日間行い、24人の議員が市政について質問しました。

決算審査特別委員会を設置

9月定例会に提案された、平成29年度一般会計・特別会計・公営企業会計の歳入歳出決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置し、10月中旬に審査を行いました。

委員構成

委員長 北川 健治 副委員長 池添 義春
委員 井川 晃一、金子 英生、野々下 重夫、村上 順一、石本 絵梨菜、太田 徹、中川 健、馬場 才 (定数10人)

決算審査とは

議会が前年度会計の歳入歳出予算の執行の実績である決算について、収入・支出が適当に行われたかどうかを確認することを言います。

人事案件

公平委員会委員(関川信也氏)の任期満了に伴い、引き続き選任することについて同意しました。

議案の概要

寝屋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

平成29年9月に議会に設置された、学識経験者等5名による「寝屋川市議会専門的事項に係る調査会議」からの調査報告書を受けて、議員報酬の月額を1万7000円減額するものです。

寝屋川市執行機関の附属機関に関する条例の一部改正

市長の附属機関として、寝屋川市外部監査人選定委員会を設置するため、条例の一部を改正するものです。

財産の取得(災害時用備蓄品)

災害時における食料等の生活必需品を市立小中学校等に備蓄するため、アルファ化米(炊き出し用)4万3150食などを取得するものです。

一般会計補正予算(第4号)

平成30年度一般会計補正予算(第4号)は、17億3538万6000円を増額するもので、主な内容は次のとおりです。

- くらし・笑顔創生基金積立金の追加 [4億1000万円]
- 公共公益施設整備基金積立金の追加 [1億7338万8000円]
- 財政調整基金積立金の追加 [8億1000万円]

一般会計補正予算(第5号)

平成30年度一般会計補正予算(第5号)は、大阪府北部地震による被害を受け、早期対応が必要な総合センターの事務所機能の移転に係る経費、1億4500万円を増額するものです。

これにより、平成30年度一般会計予算歳入歳出の総額は、859億6061万9000円となりました。

また、この案件の審査に当たっては、総務・建設水道・厚生・文教常任委員会連合審査会を開催しました。
※連合審査会：案件の付託を受けた委員会が、他の関連する委員会と合同で審査・調査を行うための会議。



総務・建設水道・厚生・文教常任委員会連合審査会の様子

意見書

- 9月定例会で可決し、関係大臣等に送付した意見書は次のとおりです。
- ◆児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書
 - ◆水道施設の戦略的な老朽化対策を求める意見書
 - ◆非婚ひとり親に寡婦・寡夫控除の適用をする所得税法改正を求める意見書

新風ねやがわ議員団

暮らしの充実

明日への安心と責任

北川	光昭
井川	晃一
池	真一
金子	英生
北川	健治
廣岡	芳樹
森本	雄一郎
山崎	菊雄

これからの市役所について

問 人口減少時代において市役所がどのように変化するか見解を伺う。

答 限りある人的・財政的資源を最大限活用し、より効率的で効果的な行政運営が必要であり、これまで以上に地域や民間企業、他自治体等との連携が重要になる。また、AIなどの積極的な活用により、組織のダウンサイジングもあり得ると考える。

ドローン活用の将来性について

問 ドローンの存在価値、利用能力を理解すれば、コンパクトシティに向かう本市にとって必要不可欠なツールになる可能性もある。将来展望に対する感想、所感、費用対効果について見解を伺う。

答 機器の活用が広がってきているため、活用方法について調査・研究を進めるべきと考える。

公式ツイッターの導入について

問 災害時等に、情報拡散が出来るという優位性がある寝屋川市公式ツイッターの導入検討について見解を伺う。

答 災害時における情報提供は、多様化する必要がある。市公式ツイッターの導入については、今後、検討していく。

エスポアールについて

問 旧館を取壊し、新館に機能移転する計画だが、完全に機能移転できるのか。校区福祉委員会やまちかど相談所はどうなるのか。また大阪府北部地震の影響を受け、中央公民館が長期休館する中、エスポアールの機能を低下させると市民全体の学習機会や生きがいが大きく失われる。見解を伺う。

答 旧館は耐震補強診断及び設計において、工事実施を行っても耐震効果が得られないと判断し安全性の確保から解体撤去と判断した。校区福祉委員会やまちかど福祉相談所については、新館の改修により利用は可能と認識している。できる限り従来どおり市民全体の学習活動の場及び機会の提供に努める。

新ごみ処理施設のごみ発電について

問 ごみ発電により、国が目標を掲

げ、市に課されている二酸化炭素の排出削減量は何か。また、ごみ発電の削減量に果たす寄与度は何割に相当するか見解を伺う。

答 地方公共団体は、エネルギー起源二酸化炭素削減を約40%とされており、ごみ発電による削減量の寄与率は約5割を見込む。

子どもの学力と読解力について

問 児童・生徒の読解力に関する分析の、教育委員会としての所感は。また、子どもの読解力向上に向けての課題について見解を伺う。

答 全国学力・学習状況調査において、小・中学校ともに、読むことの領域について、全国平均と同等の結果となっており、教育委員会として新学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」を着実に推進し、子どもたちの読解力の育成を図る。

市道池田秦線の安全対策について

問 消費生活センター前から西側（総合センター側）に向けて歩道が無く、危険な状況である。路側帯を活用した自転車通行空間のカラー舗装工事等の実施時期について市の見解は。

答 自転車通行空間カラー舗装化の時期は、消費生活センター前、桜木橋の橋梁長寿命化工事と併せて実施するため、工事完成は平成31年3月を予定している。

平池町交差点の改良について

問 横断歩道と歩行者用信号の設置を前提に、横断歩道橋撤去の予算計上について評価しているが、具体的な工事の予定等について、市の見解を伺う。

答 現在、横断歩道橋撤去などの警察協議が整い、11月中旬に業者を選定し、平成31年1月に横断歩道や信号機の設置などの工事に着手し、工事完成は平成31年3月末を予定している。

防災意識向上に向けた取組について

問 火事や地震等の有事に効果のある備えが訓練である。防災訓練の必要性を啓発し、アプローチする取組について見解を伺う。

答 地域協働協議会関係者会議において、訓練動画のDVDを配布することにも防災訓練を実施することで、状況に応じた判断力や行動力を養うことができる旨を啓発している。



フリース毛布（備蓄品の一部）

公明党市会議員団

やっぱり寝屋川が好き

住みやすさナンバーワンのもちへ！

野々下 重夫	池添 義春	岡 由美	梶本 孝志	住田 利博	高見 雄介	村上 順一
--------	-------	------	-------	-------	-------	-------

高齢者の肺炎の予防接種

問 一度も定期予防接種を受けていない市民を救うために、平成31年度以降も市独自助成を継続し、救済措置をとるべきと考える。見解は。

答 今後も国の動向を注視していくとともに、接種の必要性を積極的に周知し、100%の接種率を目指した助成制度を検討していく。

手話言語条例の制定に向けて

問 条例制定に当たり、積極的に取り組む予定の具体的な施策はあるか。

答 職員研修やホームページ等を活用し、普及啓発を考えている。

小中学校の特別教室及び体育館へのエアコン設置

問 全ての特別教室及び災害時に避難所となる学校体育館にエアコンの設置を要望するが、見解は。

答 特別教室については、児童・生徒が安全で快適に学べる環境づくりとして重要であると認識しており、財源の確保等も含め、検討していく。体育館については、国の補助金を含め国の動向を注視している。効率

的な手法等も調査・研究する。

熱中症対策

問 今年の夏のような災害規模の猛暑には全庁上げて取り組むべき。

答 ミストシャワー装置の設置や民間も含め冷房の効いた施設の開放など、必要な財源措置を行い、取り組むべきものと考えている。

「ねやがわプールのズ(ねやぷ〜)」の感想と成果

問 子供たちの笑顔をつくる良い施策。この夏に開催しての感想・成果は。

答 小学校の校庭という身近な場所で子供たちに水遊び場を提供し、多くの子供の笑顔があふれ、夏の思い出づくりにつながったものと考えている。

東部のまちづくり

問 第四中学校跡地に宿泊型屋内スポーツ関連施設を建設するなど、地域経済活性化についての所感は。

答 公園などの地域資源を最大限いかして、子育て世代の定住・流入促進や健康寿命の延伸などが図られるよう、まちづくり全体のコンセプト

との整合性を図りつつ検討していく。

問 駅名を変更することで、東部のまちづくりのコンセプトへの影響は。

答 駅名改称によるイメージアップを図り、子育て世代の定住など、一層効果的に働くものと考えている。



東部のまちづくり

就学援助制度

問 入学準備金の増額及び認定基準額の見直しが必要ではないか。

答 平成29年度から入学準備金の増額と支給時期の変更をされており、今後も国の動向を踏まえ、適切に対応していく。

防災に関する取組

問 災害時に発生する状況を想定し、時系列で整理した「防災タイムライン」の策定に取り掛かる必要性があると考えているが、見解は。

答 「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」に基づき、避難勧告等の判断をしている。今後、総合的なタイムライ



ンの作成に向け、調査・研究していく。

問 地域の防災力向上のために、防災士資格の助成制度を設けている自治体がある。市内の共助のネットワークを広げるためにも本市でも取り組んではどうか。

答 防災士の資格を持った市民が増えることは、地域の防災力向上の推進にとって非常に効果があると認識している。

問 災害時に、自分に障害があることを周りに伝えるために、バンダナを配布する取組についての所感は。

答 要配慮者を明確にする有効な手段であると認識しており、他市の事例を参考に調査・研究していく。

萱島駅高架下広場

問 広場の空間デザインや、専門家・市民を巻き込み、活用アイデアの共有など提案するが見解は。

答 都市計画道路萱島讃良線の整備に際し、駅前広場のリニューアルを含め検討していく。

問 喫煙ボックスを設置するなど、分煙の取組を進めるよう求める。

答 受動喫煙による健康被害を抑えるためにも分煙について検討していく。

日本共産党市会議員団

猛暑、地震、台風…災害から

市民の命と健康を守る市へ

太田 徹
石本 絵梨菜
中林 和江
西田 昌美
前川 奈緒

暑さから市民の命を守る施策を

問 小中学校の全ての特別教室へのエアコン設置を。

答 音楽室とパソコン室等にはエアコンが設置されている。その他の特別教室には財源確保も含め検討する。

問 学校の体育館にエアコン設置を。国の補助金を含め国の動向を注視している。効率的な手法等も調査・研究する。

問 熱中症対策として全小中学校にウオータークーラーの設置を。

答 早期に全校への設置を進める。

問 生活保護世帯全体のエアコン設置状況調査を行うべき。

答 ケースワーカーによる訪問調査等で熱中症対策の周知・啓発を行う。

災害対策・防災教育の充実を

問 災害時、学童保育から保護者への確実な連絡体制の確立を。

答 市の公式アプリなど検討する。

問 子育て世代への防災に対する危機意識の啓発も必要。

答 子どもの防災学習にも使える「(仮称)命を守るねやがわ防災」を作成し、30年度中に市民に配布する。
問 小中学校での避難訓練をより具

体的で実践的な内容に見直しを。

答 学校防災計画に基づき様々な状況を想定した訓練を実施している。

問 透析患者の災害時の課題に対応するため日頃から患者団体と情報共有する体制を求める。

答 平時から災害時要援護者の把握に努める。



子育てしやすい寝屋川市へ

問 35人学級の拡充を。

答 小学3年生への導入の成果と課題を検証している。拡充は研究する。

問 第3子の学校給食費の助成について進捗状況は。

問 国の動向を注視し、引き続き検討。学童保育の1クラブ定員を40人以下にするよう求める。

答 各小学校との連携を図り、新たな余裕教室の確保等に努める。

問 学校司書の増員を。

答 30年度3人の増員を行い、その検証を進めているところ。

療育水準の維持・向上を

問 あかつき・ひばり園は引継ぎ最後の年。市が保護者に約束した「療育水準の維持向上」を果たすため、引き続き支援を。

答 法人と共に保護者の声を聞きながら市の責任を果たす。

問 専門職を継続的に確保するために次期の指定管理委託料に配慮を。

答 様々な状況変化を踏まえ適切に指定管理を行えるよう検討する。

問 引継ぎ後も担当ラインの常駐を。

答 市の療育システムとの関係性等を含め、在り方を検討する。

住み続けられるまちづくりへ

問 木屋元町公園に障害者が利用できるトイレの設置を求める。

答 今後、整備に努める。

問 成田西町の今後の浸水対策は。

答 南前川上流水路の嵩上げ、四方黒池改良工事等行ってきた。今後も地域住民との連携を図り、水路等の清掃等を行うなど機能確保に努める。

問 明和小学校から四條畷市域までの道路が狭く側溝も深い。改善を。

答 安全対策を府に伝える。

◆ 高宮ポンプ場整備事業を視察しました ◆

市では、これまで雨水が流入していた旧国道170号以西地域の浸水対策を推進するため、平成28年度から高宮ポンプ場整備事業を行っています。

平成30年2月からトンネルの掘削機「シールドマシン」による下水管工事を開始し、約1.8kmのうち約0.6kmの区間まで掘削が進み、7月20日に市議会として、現場を視察し、事業の概要や工事の内容について説明を受けました。



問 図書館がない萱島、香里園、東寝屋川地域への図書館設置を。

答 駅周辺のまちづくりなどと併せ、全市的な見地で調査・研究する。

問 介護保険料の独自減免制度の認定要件を見直して、多くの低所得者が利用できるように求める。

答 次期計画の策定時に介護保険料と併せて検討していく。

大阪維新の会議員団

「教育」「医療」

「働き方改革」

中川 健
坂光 勇哉
杉本 健太
元橋 理浩

出前講座について

問 全世代対象、特に高齢者に向けた端末操作、インターネット検索、防災情報等を取得できる基礎知識の出前講座、教室があってもいいと考えるが、市の見解は。

答 ICT機器の操作等に関する講座は必要なスキルであり、新たな喜びや楽しみにつながるものと認識しており、実施に向け検討する。

小児救急医療について

問 北河内夜間救急センターにおける本市の負担額と、仮に本市が単独で市内の病院に委託して行った場合、どれくらいの費用が想定されるか。

答 平成29年度の決算見込において約1780万円となっている。仮に本市が単独で市内の病院等に委託し、実施した場合の経費について、診療スタッフ等人件費を始めとする必要経費は同様のため、現在の運営経費の決算見込である約9000万円と見込まれる。

問 現在、医師の高齢化や小児科医の不足といった問題がある中、本市における小児科休日診療の運営においてはどのような課題があるか。

答 小児科医の確保を医師会に協力していただいているところだが、今の小児科医の不足により、今後、継続的な確保が困難になりつつある。

人事給与改革プランについて

問 人事制度と給与制度の一本化についての進捗と、求める効果は。

答 さらに人事評価の結果に応じたメリハリのある給与処遇となるよう30年度、人事評価制度の見直しを行った。その効果は、より職員が頑張ろうと思える制度になることある。

問 管理職員の人事評価に、休暇取得率と時間外勤務縮減を評価することとなったが、どのように人事評価し、どのような結果を期待するか。

答 休暇の取得や時間外勤務の縮減の取組の具体的な成果を評価することを考えており、職員の健康保持やワーク・ライフ・バランスを推進していく。

問 「働き方改革」ねやがわスタイル」長時間労働は正の緊急取組のうち、意識改革について、どのような変化があったと考えているのか。

答 長時間労働をしない・させないという意識が全庁的に広がってきており、管理職員からは、資料作成の

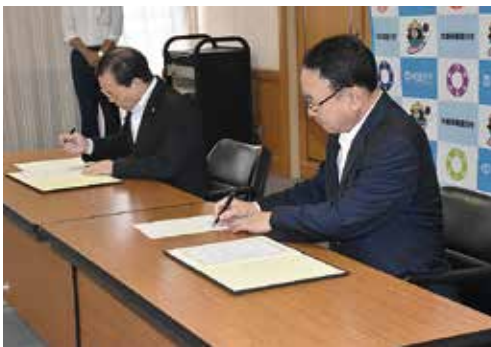
要否を精査するようになったという声を聞いている。

プログラミング教育について

問 小学校におけるプログラミング教育導入に向け、教員の研修、ICT環境の整備、教材の開発や指導事例集の整備などが文部科学省によって示されている。教育委員会における進捗状況及び今後の計画は。

答 プログラミング教育の基礎・基本及び実技の教員研修を実施するとともに、授業公開を予定。プログラミング教育の推進に必要なICT環境は、全校に整備されている。

教材の開発や指導事例集の整備については、文部科学省などが設立し、実施事例などを掲載したサイト「未来の学びコンソーシアム」の活用を進める。また、9月10日には、大阪電気通信大学とプログラミング教育に関する連携協定を締結した。



大阪電気通信大学とプログラミング教育に関する連携協定を締結する様子

7月臨時会を開催

公共施設の在り方調査
特別委員会を設置

大阪府北部地震を受け、平成30年7月23日に、7月臨時会を開催し、安全性に課題がある公共施設等のブロック塀の改修、通学路等に面するブロック塀等の撤去等に対する補助制度の創設に係る一般会計補正予算などの審議を行いました。

また、市議会としても公共施設の安全性について十分な検証を行いながら、今後の公共施設の在り方について調査・協議を行うため、特別委員会を設置しました。

特別委員会では、総合センターの被害状況の視察や、行政からの報告を受け、総合センター内にある行政機能を一時的に移転させる必要性を提言すべきとの全委員の意見がまとまり、平成30年8月22日に第一次報告書を議長に提出しました。



議長に特別委員会
第一次報告書を提出

新生ねやがわクラブ議員団

防災対策 待ったなし!

思いやりのある安心社会を

松本 順一
馬場 才
板東 敬治

災害に備える体制づくりを

問 公共施設29施設に存在するアスベスト対策についての考えは。

答 アスベスト対策に地震への対応を含めた再検討が必要と考えている。

問 災害時の危機管理体制を強化するため「災害集中管理室」及び「総合的な集中管理システム」の導入が必要と考えるが。

答 「災害集中管理室」において消防組合や警察などの情報共有の必要性を感じており、検討する。「総合的な集中管理システム」の導入は先進事例を調査・研究する。

災害時の情報弱者(難民)対策を

問 自宅に設置する戸別防災無線機や防災ラジオへの取組を要望するが。

答 他市の事例を調査・研究する。自治会の掲示板や回覧による災害情報の周知についての見解は。

答 伝達手段の多様化は重要であり、様々な手法を検討する。

AEDの有効性向上を

問 公共施設のAEDを施設外に設置すれば、24時間、誰もが使用できることになるのでは。

答 今後、検討する。
問 自治会がリース契約で運用するAED事業へ費用支援をしては。今後、検討する。



集会所等に設置されているAED

ワンコインバスの導入を

問 他市では行政のワンコインバス運行負担額に対し約8・8倍の経済波及効果との試算もある。仮に本市で導入した場合、100円バスの提供で経済波及効果はあるか。

答 高齢者の外出により、一定の経済波及効果はあると考える。

問 本市での100円バス導入時の費用負担や経済効果を調査し、地域

公共交通協議会で協議をしては。当協議会で議論する。

AI導入で市民サービス向上を

問 行政運営にAIやIoTの導入事例があるが、効果について所見は。

答 市民サービスの向上や業務の効率化に寄与するものと考えている。
問 導入に向け、民間企業や大学等と共同開発体制を構築してはどうか。
答 連携について検討していく。

教職員の働き方改革の推進を

問 教師が児童生徒と向き合える時間を確保するため、「校務支援システム」の導入が必要と考えるが。

答 事務負担軽減に効果があると認識しており調査・研究を進める。

問 「出退勤管理システム」は。
答 学校関係者を含め検討する。

土木部門の維持・管理体制構築を

問 対症療法的対応から予防保全的対応へシフトが必要では。

答 必要と考えており、長寿命化計画等のインフラ保全計画を策定している。



議会日誌

【7月】	17日 幹事長会	18日 議会運営委員会	20日 高宮ポンプ場整備事業視察	23日 全員協議会 / 本会議(臨時会) / 公共施設の在り方調査特別委員会
【8月】	3日 公共施設の在り方調査特別委員会	6日 幹事長会	21日 公共施設の在り方調査特別委員会	23日 全員協議会 / 幹事長会
【9月】	3日 本会議(第1日) / 決算審査特別委員会 / 議会広報委員会 / 幹事長会	6日 総務・建設水道・厚生・文教常任委員会 / 幹事長会	10日 議会運営委員会	12日 本会議(第2日)
	13日 本会議(第3日)	14日 本会議(第4日)	18日 総務常任委員会 / 建設水道・厚生・文教常任委員会 / 4常任委員会連合審査会 / 総務常任委員会 / 幹事長会	19日 厚生・建設水道常任委員会協議会
	20日 総務・文教常任委員会協議会	21日 議会運営委員会 / 本会議(第5日) / 幹事長会	3日 議会広報委員会	



9月定例会 議決結果一覧



議案番号	件名	議決結果
認定第1～7号	平成29年度寝屋川市一般会計歳入歳出決算認定（他4特別会計、2公営企業会計）	閉会中の継続審査
報告第10号	平成29年度寝屋川市一般会計継続費の精算報告	報告終結
報告第11号	平成29年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告	報告終結
議案第50号	寝屋川市執行機関の附属機関に関する条例の一部改正	可決
議案第51号	寝屋川市個人情報保護条例の一部改正	可決
議案第52号	寝屋川市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正	可決
議案第53号	寝屋川市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正	可決
議案第54号	寝屋川市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部改正	可決
議案第55号	寝屋川市介護保険条例の一部改正	可決
議案第56号	平成30年度寝屋川市一般会計補正予算（第4号）	可決
議案第57号	平成30年度寝屋川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第58号	平成30年度寝屋川市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第59号	平成30年度寝屋川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第60号	財産の取得（寝屋川市地域公共ネットワーク機器等）	可決
議案第61号	財産の取得（災害時用備蓄品）	可決
議案第62号	平成29年度寝屋川市水道事業利益剰余金の処分	可決
議案第63号	平成29年度寝屋川市下水道事業利益剰余金の処分	可決
議案第64号	公平委員会委員の選任	同意
議案第65号	平成30年度寝屋川市一般会計補正予算（第5号）	可決
議員提案第8号	寝屋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決
	議員提案第8号 寝屋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正に対する修正案	否決
議員提案第9号	児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書	可決
議員提案第10号	水道施設の戦略的な老朽化対策を求める意見書	可決
議員提案第11号	非婚ひとり親に寡婦・寡夫控除の適用をする所得税法改正を求める意見書	可決

※議案内容・議決結果は、市議会ホームページからご覧いただけます。

● 全員協議会 ●

市政に関する重要事項等について検討するため、議員全員が集まって開かれる会議です。
平成30年7月に大阪府北部地震についての課題等について、8月に第六次寝屋川市総合計画策定方針、東寝屋川駅周辺のまちづくりについて、全員協議会を開催しました。

12月定例会の日程（予定）

- 12月3日（月）＝本会議
- 4日（火）＝厚生常任委員会、建設水道常任委員会
- 5日（水）＝総務常任委員会、文教常任委員会
- 12日（水）～14日（金）＝本会議（一般質問）
- 18日（火）＝本会議

※いずれも午前10時から。議事の都合で変更される場合があります。請願・陳情の提出期限＝11月20日（火）